

# 第1学年 国語科学習指導案

日 時 平成26年9月1日(月)  
学 級 1年4組男子12名、女子16名、計28名  
場 所 1年4組教室  
指導者 吉田 寛子

- 1 単元名 「『釜石』を紹介しよう」  
学習材名 中心学習材 「スピーチ名人になろう (光村図書1年)」  
補助学習材 「中学校 郷土資料集 (釜石市教育委員会)」

## 2 目標

- 分かりやすいスピーチをするために、全体の構成や話し方を工夫して話そうとしている。 【国語への関心・意欲・態度】
- 分かりやすく伝えるために全体と部分、事実と意見の関係に注意し話を構成することができる。 【話すこと・聞くことイ】
- 分かりやすく伝えるために、話す速度や音量、間に気を付け、語句を選択して話すことができる。 【話すこと・聞くことウ】
- 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意し、語感を磨くことができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(イ)】

## 3 単元について

### (1) 生徒観

生徒達は、これまで小学校での学習を振り返りながら国語の学習に意欲的に取り組んできている。4月に行ったNRT検査の結果では、全ての領域において全国比を上回っており、小学校で学習した内容が概ね定着していることがうかがえる。学習課題に対しても前向きに取り組む生徒が多い。

しかしながら、「言葉を集めよう もっと伝わる表現を目ざして」の学習において、自分の好きな食べ物について紹介文を書き、発表した際、事実と感想、意見などを区別して話したり、声の大きさや速さ、目線などに気をつけて話したりするなど、相手に自分の思いや考えを伝えるための話し方に課題が見られた。また、伝えたいという気持ちは高いものの、自分の思いや考えを伝える語彙の不足により、十分に思いを伝えることができないという状況がみられた。

以上のような実態を踏まえ、言葉遣いなど小学校における学習内容を振り返らせ、身につけた力を生かして話すことが中学校における音声言語活動の基礎となることを十分に理解させながら学習を進めるとともに、自分の思いや考えを相手に伝えるための話の構成を考える力を高める必要がある。

### (2) 教材観および指導観

- 位置づけた言語活動について

そこで本単元では、「A話すこと・聞くこと」の「イ全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話すこと」「ウ話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いなどについての知識を生かして話すこと」を重点的な指導項目とする。そのために、言語活動例「ア日常生活の話題について報告や紹介をしたり、それらを聞いて質問や助言をしたりすること」をより具体化し、「朝日町の中学生に釜石を紹介するスピーチをする」という言語活動を設定する。

具体的には、「『釜石』を知らない朝日町の中学生に『釜石』を紹介する」ために、自分が一番紹介したいと思う内容を「釜石市の郷土資料集」の中から選んで決めることで明確な相手意識と目的意識をもたせる。その後、釜石を知らない中学生に伝えるスピーチにするためにグループで視点をもとに相互評価し合いながら、よりよいスピーチを考えていく。

今回は、つけたい力をもとに以下の観点①②③でスピーチの構成を考えさせ、④⑤⑥⑦の観点で相手や場を意識させた話し方をさせることで、分かりやすいスピーチを目指す。

<構成に関わること>

- ① 事実と意見の関係に注意する。

- ② 全体と部分。
- ③ 資料の効果的な活用。

<話し方に関わること>

- ④ 話す速度と音量。
- ⑤ 言葉の調子と間の取り方。
- ⑥ 相手に分かりやすい語句の選択。
- ⑦ 相手や場に応じた言葉遣い。

**【既習の力】**  
 ☆話の構成を工夫し、明確に伝える力

↓

- ③資料の効果的な活用
- ④話す速度と音量
- ⑤言葉の調子と間の取り方
- ⑥相手に分かりやすい語句の選択。
- ⑦相手や場に応じた言葉遣い

**【本単元で言語活動を通して身につけさせたい力】**  
 ☆目的や場面に応じて事実と意見の構成を工夫し、相手の反応を踏まえて話す力

↓

- ①事実と意見の関係に注意する。
- ②全体と部分。
- ④話す速度と音量
- ⑤言葉の調子と間の取り方
- ⑥相手に分かりやすい語句の選択。
- ⑦相手や場に応じた言葉遣い

\* ④⑤⑥⑦については、小学校の既習事項であるが、生徒の実態から、本単元で確認するとともに、確実に身につけさせたい能力として位置付けた。

「釜石を知らない朝日町の中学生に『釜石』を紹介をする」という目的・相手意識をもつことで、本校の研究テーマ「生徒の『わかった』『できた』を目指す授業改善」に迫ることができると考える。

(3) 単元構想 (全6時間扱い 本時5/6)

	学 習 活 動	評価規準	指導にあたって
1 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元全体の学習の見通しをもつ</li> <li>・「朝日町の中学生に釜石を紹介するスピーチのビデオを送る」というゴールを示し、学習の見通しをもたせる。</li> <li>○教材の手順に沿って原稿を作成し、スピーチをする</li> <li>・聞き手にとって関心がある話題で原稿を書く。</li> <li>・発表会を通して魅力的なスピーチの仕方をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇【関】朝日町に興味をもち、「釜石」の良さを伝えることに意欲をもっている。</li> <li>◇【話・聞】話題をしぼって理由や具体例を短く添えて原稿を作っている。(イ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元全体の見通しをもたせるために、富山県や朝日町のホームページから資料を提示したり、「釜石市の郷土資料」を見せて興味関心を高める。朝日町と釜石市との交流の経緯にも触れる。</li> <li>・このスピーチの準備の手順が、「朝日町の中学生に釜石市を紹介する」につながることを説明し、イメージをもたせる。発表会后、級友のスピーチの内容と話し方について良さと課題を各自にまとめさせて、発表させることで、魅力的なスピーチについて考えさせる。次時の学習への事前準備とする。</li> </ul>
3 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「朝日町の中学生に釜石を紹介する」ためのスピーチ原稿を作る。</li> <li>・「郷土資料集」から伝えたい事柄を選び、情報を整理する。</li> <li>・相手にとって分かり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇【話・聞】伝えたい事柄を選び、情報を整理し、話す構成を工夫して、自分の考えをまとめている。(イ)</li> <li>○【言】報告したい内容を適切に伝えるために、語句を選んでいる。(イ(イ))</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料集から伝える内容がしぼれない生徒には、興味のある項目について話し合い、生徒と一緒にテーマを設定する。</li> <li>・伝えたいことを焦点化し、相手の立場(釜石市を知らないこと)に留意しながら、相手にとって分かりやすい原稿をイメージさせて書かせる。</li> </ul>

	やすいように原稿をまとめる。		
--	----------------	--	--

	学 習 活 動	評価規準	指導にあたって
5 本 時	<p>○グループ内で発表し、効果的なスピーチについて交流し合う。</p> <p>・聞き手にとってわかりやすいスピーチの観点を確認する。</p> <p>・観点と照らし合わせながら互いの原稿と話し方を交流させることで、よりよいスピーチにする。</p>	<p>◇【関】より良いスピーチを目指して進んで工夫しようとし、意見を交流しようとしている。</p> <p>◇【話・聞】伝えたいことを分かりやすく伝えるための観点をもとにアドバイスされた事柄を踏まえて自分のスピーチに生かそうとしている。 (イ) (ウ)</p>	<p>・前述の「原稿作りや魅力的なスピーチの観点」に照らし合わせながら交流させる。交流が混乱しないように、始めに原稿作りについて、そのあと、スピーチについて交流を進めさせる。各自に、自分のスピーチの良いところと改善点を自覚させ、必要なことは原稿にメモをとらせる。</p>
6	<p>○朝日町の中学生に送る、釜石を紹介するスピーチをビデオに撮る。</p> <p>○本単元での学習を通して自分に身に付いた力について振り返り、学習のまとめをする。</p> <p>・前時の学習を生かしながら練習し、スピーチをビデオに収める。</p>	<p>◇【話・聞】伝えたいことを分かりやすくスピーチするために話をどのように組み立てるかを考えている。 (イ)</p> <p>◇【話・聞】音声の働きや仕組みに注意し、目的や場面に応じて適切な音量や抑揚などで話している (ウ)</p>	<p>・既習事項を生かしながら練習をさせて、全員のスピーチをビデオに収める。級友のスピーチで向上したところを確認しながら聞かせる。</p> <p>・聞き手である朝日町の中学生の反応をイメージしながらスピーチをさせる。</p> <p>・最後に本単元での学習を通して自分に身に付いた力について振り返らせ、</p>

#### 4 単元の評価規準

- 釜石について朝日町の中学生によく分かるよう、原稿作りや話し方を工夫してスピーチしようとしている。  
(国語への関心・意欲・態度)
- 分かりやすく話すために、話をどのように組み立てるかを考えている。  
(話す・聞く能力 イ)
- 話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いなどに注意して話している。  
(話す・聞く能力 ウ)
- 釜石を紹介する上で必要な多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙について関心をもつことができる。  
(言語についての知識・理解・技能イ (イ))

5 本時の学習

(1) 目標

○ 話す内容の構成、話す速度や音量、間など、伝えたいことを分かりやすくスピーチするための工夫について交流し合い、より良いスピーチについて考えることができる。

	学習活動 (○) と学習内容 (・)	指導上の留意点
導入 3分	○ 本時の学習課題を確認する。	・ スピーチの原稿をグループで発表し合い、ビデオ撮影に向けて、原稿や話し方をよりよく仕上げることを確認する。
	互いの原稿を発表し合い、より良いスピーチにしよう。	
展 開 42分	○ 分かりやすくスピーチするための工夫について交流する。 ・ 分かりやすく伝えるための工夫。(構成と相手や場を意識した話し方)  ○ グループでの交流会の流れを確認し、交流し合う。 ① 個人ごとの練習のあとでグループで発表し合う。 ② より良いスピーチにするための意見交流をする。 ③ 各自、原稿の見直しと話し方の改善点をまとめる。 ④ 仕上げの練習をする	・ 「釜石を全く知らない中学生」に分かりやすく伝える工夫の観点を示す。 <構成> ① 事実と意見の関係に注意する。 ② 全体と部分。 ③ 資料の効果的な活用。 <相手や場を意識した話し方> ④ 話す速度と音量。 ⑤ 言葉の調子と間の取り方。 ⑥ 相手に分かりやすい語句の選択。 ⑦ 相手や場に応じた言葉遣い。 ・ 分かりやすいスピーチにするためには、構成と相手や場を意識した話し方が大切であることを確認する。  ・ 各自、1分間時間をかけて練習させる。  ・ グループごとであっても、発表者はその場に立ち、相手意識をもって発表することを確認する。 ・ 改善のためのアドバイスを評価カードに書かせるとともに、改善したほうがよい点を話し、改善の視点がより明確になるようにする。 ・ 友達のアドバイスをもとに構成を見直したり、話し方を考えたりする。  ・ 隣同士で、全体の構成と話し方に留意させて仕上げの練習に取り組ませる。  ・ 教師の見取りをもとに、交流を通して改善が図られた生徒にスピーチをさせ、交流することのよさを実感させる。
終	○ 次時への準備をする。 ・ 各自、自分のスピーチの原稿と	

末 5	話し方を手直しするとともに、自己評価をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表を聞き、自分の手直しに生かすように指示する。</li> </ul>
--------	------------------------	--

(3) 本時の評価規準

A	B	努力を要する生徒への支援
<p>分かりやすいスピーチにするために、工夫の観点に沿って評価するとともに、評価用紙を生かして、構成や原稿の構成を工夫し、話す速さや音量、間に気を付けながら話している。</p>	<p>分かりやすいスピーチにするために、工夫の観点に沿って評価するとともに、評価用紙を生かして、構成や話す速さや音量、間に気を付けながらスピーチしている。</p>	<p>分かりやすいスピーチにするために、評価された内容を確認するとともに、構成や速さ、声の強弱や間を原稿にメモさせ、評価用紙を生かして練習できるように支援する。</p>